

住所や電話番号を知られてしまうと？

アンケートに答えると必ず商品がもらえるのか。すぐに応募してみよう。

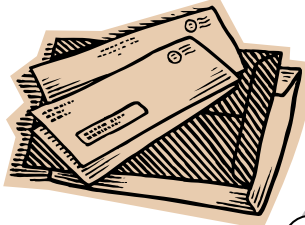
アンケートに答え、入力するのは、名前、住所、電話番号。これを入れて、送信。商品が届くのが楽しみだな！

キャラクタープレゼントコーナーアンケートに答えてね。



何日かして

最近、広告の手紙がたくさん届くようになったのよ。どうしてかしら？



知らない人から電話がかかってくるようになった。どうしてかしら？



個人情報保護法

個人情報保護法とは、個人情報が知らないうちに使われたり、大量の情報が外にもれたりしないように、個人情報を会社がきちんと取り扱うべきことを、ルールとして国が決めた法律です。

ポイント

インターネットのWebページの中には、人をだまして、住所や電話番号、名前などの個人情報を集めるものがあります。個人情報が知られると、広告の手紙がたくさん届いたり、知らない人からの勧誘の電話がかかってきたりすることがあります。自分の名前、住所、電話番号、メールアドレスなどは、かるがるしく他人に教えないことが大切です。

< 背景 >

インターネットのWebページには、子どもの興味・関心を引くための懸賞付きアンケートページが増えています。子どもたちのインターネット利用状況を見ると、家庭での利用時間が増えています。5割以上の子どもが、1週間当たり1時間以上利用するという調査結果もあります。

< 事件事故の例 >

例 携帯電話紛失

女子生徒が、同級生の携帯電話番号が数多く登録されている携帯電話を、通学途中の電車で紛失した。携帯電話を取得したと思われる人物から、紛失した携帯電話に登録してあった複数の同級生の携帯電話に、頻繁に卑猥な電話がかかってくるようになった。

< 指導上の留意点 >

個人情報である自宅の電話番号や住所、家族構成などが知られると、次のような被害が増えることを理解させます。

1. セールスの電話やダイレクトメールが多くなる。
2. 「振り込め詐欺」や「誘拐」などの犯罪に巻き込まれることがある。

対策としては、次のことに注意させます。

1. インターネットは家族が見ている場所で利用する。
2. 自分や家族のことについてWeb上に書くときは、書き込む内容を家の人に相談し、許可が出てから書き込み、送信を行う。

小学生のインターネット利用に関する動向調査から、インターネットでゲームや趣味・娯楽のサイト検索がよく行われていることが分かります。こうしたWebページには、子どもの興味・関心を引くために、占いや懸賞のページが巧みに配置されています。うっかり個人情報を漏らさないように学級懇談会などを利用して、家庭と連携して指導していくことが必要です。

< 解説例 >

インターネット上のブログや掲示板に書き込みをするときは、十分注意してください。自己紹介で、名前、住所、電話番号、メールアドレスなどの情報を出すのは大変危険です。これらの情報が知られると、知らない人から電話がかかってくる、わいせつなメールや出会い系のメールがたくさん届くようになったりします。

また、友だちの携帯電話番号やメールアドレスを、他の人に軽々しく教えてはいけません。同じようなことが起こります。ブログや掲示板は、よい人ばかりが見ているとは限りません。中には、個人情報を手に入れるために見ている人がいるかもしれません。個人情報は慎重に扱しましょう。

